

参加者	三田市区・自治会連合会（役員等）	人数	15人
主な意見			
<p>（地域分散の受皿となるまちづくり）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナで地方分散型の流れが高まっている。その中で、パソナが東京から淡路島に来たのは、やはり淡路にそれだけの魅力があったのだろう。地域の活力は人材次第。三田も分散の受皿になり得る魅力的な環境をつくっていかねばならない。 ・三田に企業誘致をしたいが、市街化調整区域がネックで、家が建たず、企業は別の市町に行ってしまう。規制緩和が必要である。人を呼び込む思い切ったまちづくりを。 <p>（子どもが地域を体験できる資源の創出）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュータウンは高齢化が進んでいる。若い世代に残ってもらったり、新しく入ってきてもらうために、子どもを巻き込んだ「地域の体験」に取り組んでいる。ただ、ニュータウンには伝統行事がない。人と人のつながりを維持していくための核となる資源を見出していく必要がある。 <p>（若者を呼び込む農業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業ボランティアを始めたが、農業をやっているのは年寄りばかりである。若年がほとんどいない。若手に農業の魅力を伝えたい。また、若い人に来てもらうために、農業をデジタル化して魅力を高めることも重要。自然の豊かな三田が若い人の活躍の場になることを期待する。 			